

2020年10月13日

各位

## QD レーザが医療機器として承認を受けた「RETISSA®メディカル」販売支援のお知らせ

参天製薬株式会社(本社所在地:大阪府大阪市、以下 Santen)は、株式会社 QD レーザ(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:菅原充、以下、QD レーザ)が医療機器として承認を受けた「RETISSA®メディカル」の、日本における販売支援に関する契約を締結したことを、お知らせします。

「RETISSA®メディカル」は、QD レーザが、新医療機器として2020年1月に承認を取得した医療用デバイスで、不正乱視によって視力が障害された患者(既存の眼鏡またはコンタクトレンズを用いても十分な視力が得られない患者)に対し、視力補正をする目的で使用される、医療機器です。Santen は、QD レーザが本医療機器を発売するにあたり、日本の眼科医療関係者への情報提供活動をサポートしてまいります。

Santen は、創業130周年を迎えた本年、理想の世界である「WORLD VISION～Happiness with Vision～」を掲げ、その実現に向け新長期ビジョンを策定しました。本取り組みは、患者さん起点で眼科医療ソリューションの開発と提供に取り組むことにより、眼の疾患からの解放と患者さんの生活の質向上を目指すという当社のビジョンに合致するものであり、本医療機器の販売支援を通じ、視覚に障がいのある方のQOL向上に貢献してまいります。

なお、RETISSA®は株式会社 QD レーザの登録商標です。

### 【参考情報】

#### ・ 医療機器承認

RETISSA®メディカルは新医療機器として2020年1月28日に承認を取得しました。

販売名:RETISSA メディカル

一般的名称:レーザ網膜走査型眼鏡(新設)

クラス分類:クラス2(管理医療機器/特定保守管理医療機器)

承認番号:30200BZX00025000

#### ・ 承認範囲と安全規格

「本品は、不正乱視によって視力が障害された患者(既存の眼鏡又はコンタクトレンズを用いても十分な視力が得られない患者)に対し、視力補正をする目的で使用される。」

本品はレーザ安全性に関する国際規格 IEC60825-1 に適合するクラス1のレーザを利用しています。

・ 製品の特性

期待される3つの特性

①遠見視力の補正

網膜投影による視力補正が期待できるほか、デジタルズーム(2倍)の併用により、さらなる見え方の改善が期待できます。

②読書速度の向上

1分間に読める文字数が増加することで、よりスムーズな読書が可能になると考えられます。

③ 読書視力の向上

より小さな文字が読めるようになり、読書視力の向上が期待できます。



図 RETISSA®メディカル

以上

【株式会社 QD レーザ】<https://www.qdlaser.com/>

2006年4月に富士通株式会社からのスピンオフベンチャーとして設立、可視光領域から波長1300nm帯までの、量子ドットレーザをはじめとする高性能の半導体レーザの開発・製造・販売を行っています。

網膜走査型レーザアイウェアの技術は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)によるクリーンデバイス社会実装推進事業、平成27年度課題解決型福祉用具実用化開発支援事業等の支援を受けたものです。

本件に関するお問い合わせ先

参天製薬株式会社コーポレート・コミュニケーション・グループ

TEL:06-4802-9360

E-mail: [communication@santen.com](mailto:communication@santen.com)

製品に関するお問い合わせ先

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール [retissa@qdlaser.com](mailto:retissa@qdlaser.com)